

# Discover Nature and Enjoy Tourism in Japan and Britain

日本人なら旅をしよう。

自然を観察する楽しさ、歩く楽しさ、泊まる楽しさ。

## 第1日目 テーマ

### 身近な自然の楽しみ方II

よく目にしてはいる身近な自然、とはいえ実は案外知らないことも多いのではないのでしょうか。

目の前のこと、そしてさらには人と自然の親和性に至るまで、私たちと一緒にゆっくりと考えてみませんか。

なお、ご自宅に植物図鑑をお持ちの方はご持参ください。

ワーク  
ショップ

#### 身近な植物の楽しみ方

～私たちだけの図鑑Part II～

森下英美子 (文京学院大学 研究員)

講演

#### 人と自然の親和性

～自然に彩られた私たちの日常生活～

木村 学 (文京学院大学 准教授)

日時・会場

## 10月6日土

13:30～16:20

文京学院大学 ふじみ野キャンパス

ふじみ野駅西口からスクールバス(無料)で約7分

※駐車場については数に限りがありますので、なるべくスクールバスをご利用ください。

## 第2日目 テーマ

### 日本とイギリス 旅行の楽しみ方

宿泊とウォーキングを比較する

日本人とイギリス人では旅行の楽しみ方のどこが違うのでしょうか？

今回は、宿泊施設のあり方と、「歩く」という視点から、日英の比較をしてみたいと思います。

講演

#### イギリスの宿の楽しみ方

吉田 雅也 (淑徳大学 准教授)

講演

#### イギリス人は『歩く』。

岩村 沢也 (淑徳大学 教授)

日時・会場

## 10月13日土

13:30～16:20

淑徳大学 埼玉キャンパス

みずほ台駅西口からスクールバス(無料)で約5分

※駐車場はありませんので、スクールバスをご利用ください。

申込締切

## 2018年9月21日(金)

## 先着80名

受講料  
無料

申込方法

はがき、FAX、またはEメールで①～⑧を明記の上、淑徳大学までお申し込みください。

① 郵便番号 ② 住所 ③ 氏名(ふりがな) ④ 年齢 ⑤ 性別 ⑥ 職業 ⑦ 電話番号 ⑧ FAX番号

**お電話でのお申し込みはできません。**

※上記いずれかの方法でお申し込みください。

お申込み・お問合せ

### 淑徳大学 共催公開講座係

〒354-8510 埼玉県入間郡三芳町藤久保1150-1 TEL: 049-274-1511 FAX: 049-274-1521

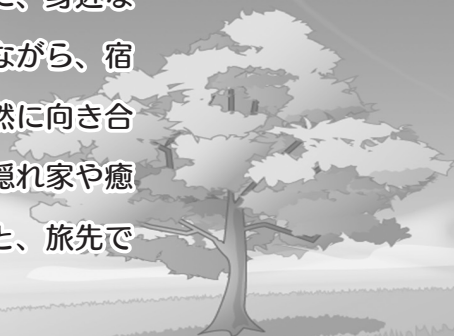
E-mail: kouza@u.shukutoku.ac.jp

※今年度は淑徳大学の受付となりますので、ご注意ください。

後援: ●埼玉県教育委員会 ●富士見市 ●富士見市教育委員会 ●ふじみ野市 ●ふじみ野市教育委員会 ●三芳町 ●三芳町教育委員会

## ご挨拶

今年度も昨年度に引き続き、文京学院大学のキャンパスを舞台に、身近な自然を観察する教室と、淑徳大学では日本とイギリスの比較をしながら、宿泊とウォーキングの楽しさを考える講義を用意しました。人は自然に向き合い、自然の中を歩き、森羅万象を観察し、よりよき何かを探し、隠れ家や癒しの場所を求めて旅をしてきました。自然に触れること、歩くこと、旅先で泊まるという行為を改めて考えてみましょう。



## 第1日目 講師紹介

もりした えみこ  
**森下英美子**

文京学院大学 環境教育研究センター研究員、文京学院大学 非常勤講師  
専門分野は、鳥類生態学、保全生物学、環境教育学。大学では、循環型社会論、人間共生論を担当

ふじみ野キャンパスの身近な自然を代表する植物を取り上げ、「わたしたちだけの図鑑」作りを行います。とはいえ、市販の図鑑に出てくる細かい識別やむずかしい分類は程ほどに、自分の目で見て感じたことを文字や絵にして図鑑の1ページを作り上げます。世界で一つだけの図鑑を手になしてみませんか？

きむら  
**木村**

まなぶ  
**学** | 文京学院大学 人間学部 児童発達学科 准教授  
専門は、環境教育学、児童学。大学では、生活科教育、保育内容環境、遊び論を担当。

日常生活の中で、生き物を飼育したり植物を栽培したりというように、自然とのかかわりは私たちの生活を彩り豊かなものにしてくれます。それではなぜ私たちは生き物をかわいがったり、花を愛でたりするのでしょうか。私たちと自然には何らかの親和性があるのでしょうか。子どもの自然認識を参考に検討します。

## 第2日目 講師紹介

よしだ まさや  
**吉田 雅也**

淑徳大学 経営学部 観光経営学科 准教授  
専門は、ホテル経営学、観光マーケティング。大学では、ホテルビジネス論、観光経済論等を担当。

イギリスの宿泊施設には「ホテル」の他にも、昔ながらの「イン」や「B&B」、かつて貴族の別荘であった「カントリーハウス」など多様な施設があり、旅行客を楽しませています。今回はイギリスの宿泊産業に着目して、その魅力に迫ります。

いわむら  
**岩村**

たくや  
**沢也** | 淑徳大学 経営学部 観光経営学科 教授  
専門は社会学。大学では地域おこしおよび異文化理解系の科目を担当。

日本人は、登山好きですが、里地を歩くウォーキング・ブームは最近の流れです。イギリス人は、全国に張り巡らされたパブリック・フットパスを歩きます。観光の目的としてのウォーキングを考えます。